

第10回奈良ESD連続セミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 2019年1月29日(火) 19時～21時30分
- ◇会場 次世代教員養成センター2号館 多目的ホール
- ◇参加者 阿彌・大西・圓山(飛鳥小)、三木・樋口(都跡小)、島(郡山西小)、
蔵前(真美ヶ丘東)
糸・藤本・板崎・片山・藤井・西田・阿部・山田・菱谷(奈良教育大学・学生)
北村・中澤(奈良教育大学)

◇内容：ESD学習指導案の検討

(1) Let's Listen 6 「英語の歌」(中学英語：糸綾香)

- ・歌を通してよりよい社会とは何かを考える。
- ・第一次：曲を聞く、映像を見る
- ・第二次：歌がつけられた背景理解：湾岸戦争、紛争
- ・第三次：未だ解決できていない現代的課題について、自分ができることを英作文で発表する
- ・第三次で生徒がすることが明確になった。
- ・現代の課題について具体的に生徒から出るかどうか。
 - ← 第二次終了時に課題を出し、家で調べさせる
- ・第三次の英作文はどの程度のものを想定しているか。
 - ← 戦争・紛争の原因について考えさせる。それをもとに英作文させる。
- ・最後にはみんなで歌う。
- ・第二次では、貧困や飢餓など幅広く扱うのか。作者の意図を汲んで。
- ・インタビュー映像など追加資料は、できるだけ英語のものを扱い目的意識をもって聞く機会とする。
- ・英語・総合として扱うのがいいのでは。→ 英語でも可能



(2) 少子高齢化と持続可能な社会(高校1年生・現代社会：藤本七彩)

- ・少子高齢化社会と生命倫理を取り扱う
- ・「長生きするのはよいことだ」という一般的な見方を批判的にとらえる(クリティカル・シンキング)
- ・高齢化の一つの要因が延命治療
- ・現実の企業活動を取り上げた(株式会社いりどり)
- ・自らの人生設計を考えレポートさせる。
- ・クリティカル・シンキングの場面設定が効果的だ。
- ・時間数の問題があるので、総合と一緒にしてはどうか。7次は時間外に設定する。
- ・高校1年生にとってレポートはハードルが高いのでは。
- ・人権文化の尊重も含むのでは。百年法は世代間の公正、人権についても十分考えられる。
- ・レポート例が示され、授業者の意図がよくわかる。
- ・「長生きすることが幸せなのか」の方が人生設計を考えるにはよいかも。



- ・延命治療より医療の進歩の言葉がよいのでは→延命治療（医療の進歩）とする
- ・少子高齢化の課題は深めることができるのでは。

(3) 「性別ってなんだろう？」(第6学年道徳・板口咲希)



- ・性別の多様性について考えさせる
- ・固定観念を揺さぶる教材が重要
- ・心の性・体の性・好きになる性・表現する性は確定できていない子がいるので、取り扱わない。
- ・カミングアウトにもっていくことはよくない。
- ・発達段階として自分ごととして取り扱うのは難しいが、道徳として取り扱ことは、多様性を認める上で意義がある。最後のところを「自分にと

って」では、考えにくいのでテレビなどに出てくる人を例に考えさせる方がいいのでは。ゆさぶりつつ、一般的に取り扱う。

- ・クラスに当事者がいる場合、特に配慮が必要になる。いじめの原因になりかねない。←学級経営が重要になる。
- ・「日常生活で困っていること」は具体的なタレントなどを教材化してはどうか。
- ・「見た目」で判断していることを意識させるために、教材としてタレントについて4つの観点から子ども考えさせてはどうか。
- ・写真などは引っ張られるので、イラストの方がよいのでは。
- ・「日常」のところ「性別ってなんだろう」について考え、感想文をかかせる。

(4) 「秋吉台の観光化とこれから(中学1年社会科・片山健太)



- ・秋吉台の地域の実態を理解し、これからのあり方を多角的に構想し、表現する。
- ・草原と森林の植生の違いの要因を考える(昔の地図や自然環境調査を資料とする)
- ・土地利用の変化と草原と農業・畜産業について考えさせる。
- ・農業・畜産業のために草原は必要だった。草地を維持するための山焼き。
- ・農業・畜産業が衰退したにもかかわらず、山焼きが継続している理由を考える。景観維持・観光のための山焼き
- ・持続可能ではない山焼き →若草山の山焼きは持続可能か？

- ・秋吉台の観光の課題(秋芳洞?カルスト台地?)導入に工夫が必要。
- ・観光の課題を景観維持に文言変更した方が、焦点化しやすい
- ・住民の意識のところ:高齢者だけでなく他の年齢も参照にすべき
- ・奈良の若草山の事例は第5次に移動した方がいい。
- ・第4次では、焼きを続けていく価値を明確に押さえるとよい。(生態系など)
- ・学校間交流で聞き取り調査を依頼する。
- ・かつては必要性があったが、なくなった事例としては曾爾高原の方がふさわしいのでは。

(5)「私たちの「府中町」と共に生きる」(中学3年総合・藤井愛華)



- ・カルタを通して災害の多い地域であったことに気づかせる
 - ・8月の災害時に自分の行動を振り返る
 - ・東日本大震災時の釜石の中学生の行動から、自らの行動を考えさせる。 率先避難者
 - ・地形と防災ぐらいいとどめておいていいのでは。
 - ・避難する人が少なかった。
 - ・第三次で「率先避難者」と「正常化のバイアス」をしっかりとおさえることが重要。
 - ・災害時の切実感をどのように引き出すか。
- ・伝承を導入にしなくても、8月の災害からはいった方が切実感がある。その後でカルタで歴史にあたるとよい。
 - ・釜石の前に、自分たちで考える時間をとる。
 - ・宣言に終わらず、避難所運営をしてみてもいい。

(6)「柳生街道とわたしたちの町」(小学4年・総合：西田有壱)

- ・つながりを意識させたい。(他地域とのつながり、人と人のつながり)
- ・なぜ、昔の清水通りはにぎわっていたのだろう。(昭和初期の地図とインタビューを参考に)

→ 他地域とのつながりの大切さ

→ 車社会になったことで人通りが少なくなった

- ・なくならなかった店の理由は：攻めの商法
- ・教材研究がすばらしい。特に手書きの地図
- ・地図の現代版は子どもに作成させる。→このままではいけないという切実感をもたせるために。
- ・文言の統一(東部山間など)
- ・導入に昔の写真をつかってもいい。
- ・交通の変化をどのように感じさせるか。インタビューで。
- ・にぎわいの中身に観光客ではなく、地元民であること。
- ・負い子の重さを体感させてはどうか。
- ・新しくできたお店はなぜここで始めたのかを聞き取ることで新しい側面が見えてくるのでは？



(7)「香芝市のいいところプロジェクト」(中学2年・総合：阿部孝哉)



- ・人口増加中のニュータウンの将来を構想させたい。
- ・千里ニュータウン(成功例)と泉北ニュータウン(今ひとつ例)を対比させ、香芝市の将来を考える。→視点を育てる。
- ・システムとしてニュータウンのよさをとらえさせる。
- ・高齢者に向けたサービスを市役所の方と相談するのは、現実的でいい。
- ・「住みよいまち」の主体をどうするのか。自分にとって?未来の人たちにとって?

- ・「より良さ」の主語を自分にした方が考えやすいのでは。
 - 時間を越えて「誰にとっても」を想定した
- ・将来帰ってきたい街でもいいのでは。
- ・データと共にそれに対する施策として市役所の方の話があった方が具体的でいい。

(8)「水を大切にしよう」(小学4年・社会科：山田つきみ)



- ・給水→水の使用
- ・源平衛川の美しい水辺環境→汚染→再生の取組
- ・取水している？農業用水になっている。
- ・4年生で世界の水の話は難しいだろう。
- ・源平衛川を出すためには下水についてもふれる必要がある。
- ・バーチャルウォーターの復活をお願い。(実践としての新しさ)
- ・前半の学習は4年生社会科で実践されている「普通の」授業展開になっている。その後、「世界の水事情」「源平衛川」と続き、水

の使い方を再考させる内容となっており、後半部分を5年生社会科の環境学習として実践する方がレベルが高い。

- ・前半部分は取水と浄水が内容となっており、後半の排水とはこのままではつながらない。簡単でいいので、排水にも触れることで、源平衛川の汚染問題につなげることが可能となる。
- ・前半部分を切り離し、5年生の環境に特化する。その際、前半部分は4年生の学習を振り返るという内容で1時間とする。
- ・学習展開の概要
 - 1次：4年生の学習の振り返り（上水と下水）：1時間
 - 2次：世界の水事情（水不足の原因としての森林破壊、気候変動にもふれる）：2時間
飲料水だけでなく、農作物栽培のための農業用水の不足が深刻
水質と水量の保全
 - 3次：源平衛川の水質の変遷：3時間
水質汚染と原因、復活のための取り組み、現状
源平衛川の水の利用のされ方
水質・水量の保全の問題は海外だけではない。
 - 4次：バーチャルウォーター
農産物の輸入は、その地域の水を買っていることにもなる。
輸入量を増やすことで、その地域ではより多くの水が農業に向けられ、負荷をかけることになる。
 - 5次：自分たちができること（源平衛川の水、あるいは世界の水問題を対象に）



【重要な連絡】

- ・ ESD学習指導案の修正・提出 1月31日締め切り 中城さんへメールで提出
- ・ 第11回奈良ESD連続セミナー 2月15日(金)19時～
- ・ 認定証授与式 3月25日(月)3時から 学長室で行います(スーツ着用)

【参加者募集】

- ・ 第5回学ぶ喜び・ESD連続公開講座

開催日時：2月10日(日)15時～16時30分

会場：次世代教員養成センター1号館

テーマ「グローバル・シティズンシップ教育とESD」

講師：東京大学 主幹研究員 及川 幸彦 氏

奈良教育大学 名誉教授 田淵 五十生 氏

- ・ 世界農業遺産シンポジウム

開催日時：2月11日(月・祝)10時～12時

会場：次世代教員養成センター1号館

テーマ「世界農業遺産のESD教材開発を通じたESDの視点の研究」

コーディネーター 奈良教育大学 名誉教授 田淵 五十生 氏

指定討論者 東京大学 主幹研究員 及川 幸彦 氏

シンポジスト

奈良市立飛鳥小学校 大西 浩明 氏 阪南大学 祐岡 武志 氏

奈良市立都跡小学校 山方 貴順 氏 米子市立加茂中学校 山下 欣浩 氏

奈良教育大学 中澤 静男